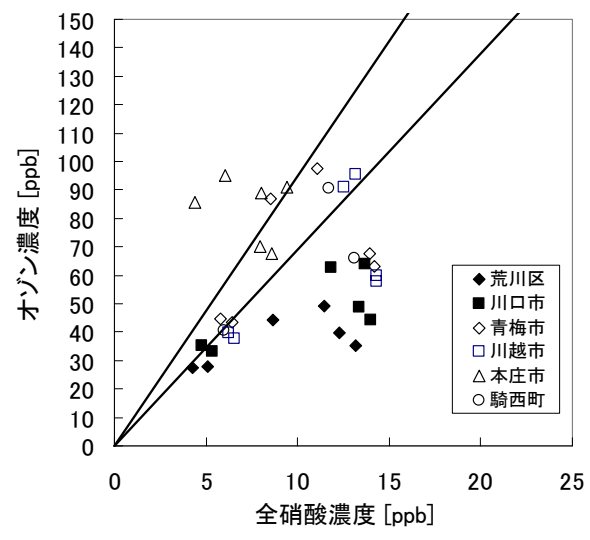


詳細リスク評価書シリーズ 24 オゾン-光化学オキシダント

正誤表

(更新 2009 年 9 月 28 日)

ページ	行	誤	正
口絵(7)		変化率(%)	変化量(ppb)
口絵(8)		変化率(%)	変化量(ppb)
口絵(9)		変化率(%)	変化量(ppb)
19	表 II.2	ヘンリー則定数の単位： <u>mol/kg/bar</u>	ヘンリー則定数の単位： <u>mol/(kg·bar)</u> 参考：単位が atm·m ³ /mol の場合、それぞれ 0.090, 0.11, 0.082, 0.11, 0.076, 0.090, 0.082, 0.11, 0.76, 0.76, 0.082 である。
23	図 II.1	オゾン正味生成メカニズムの模式図	<u>NOx/VOC 系における</u> オゾン正味生成メカニズムの模式図
117	17	「 <u>7. 室内濃度の推定</u> 」	「 <u>6. 空気清浄機のオゾン発生速度と分解係数の測定</u> 」
119	16	室内濃度や I/O 比を表 V.1 にまとめた	<u>推定した</u> 室内濃度や I/O 比を、 <u>表 V.1</u> にまとめた
120	図 V.1	(参考として室外濃度も併せて示した) [大気環境時間値データ]	(参考として室外濃度も併せて示した) [<u>出典：大気環境時間値データ</u>]
167	図 VII.8(c)	一部のデータが欠落 	
181	シナリオ V-2	数字の根拠：産環協の排出量の報告値より 2000 年から 2005 年の削減率の高い項目を 80%削減と仮定し、削減のあまり見られな	数字の根拠：産環協の排出量の報告値より 2000 年から 2005 年の <u>排出削減率の高い項目を選択し、80%削減と仮定した。同様に削減のあまり見られなかった項目</u> (製油・

		った製油・給油関連の削減を 0%と仮定し、シナリオ V-1 と同じ合計削減量 (345,532 t) を達成するとした。	給油関連) の削減率を 0%と仮定した。シナリオ V-1 と同じ合計削減量 (345,532 t) を達成するとして <u>その他の項目の削減率を調整した。</u>
183	図 VIII.5	<u>≥2%, -2~2%, ≤2%</u>	<u>≥2 ppb, -2~2 ppb, ≤2 ppb</u>
184	表 VIII.5	8 時間平均値, AOT30の平均値, AOT40 の平均値	8 時間平均値 (<u>ppb</u>), AOT30の平均値 (<u>ppb・h</u>), AOT40 の平均値 (<u>ppb・h</u>)
187	図 VIII.6	<u>≥2%, -2~2%, ≤2%</u>	<u>≥2 ppb, -2~2 ppb, ≤2 ppb</u>
186	表 VIII.8	8 時間平均値, AOT30 の平均値, AOT40 の平均値	8 時間平均値 (<u>ppb</u>), AOT30 の平均値 (<u>ppb・h</u>), AOT40 の平均値 (<u>ppb・h</u>)
189	図 VIII.7	<u>≥2%, -2~2%, ≤2%</u>	<u>≥2 ppb, -2~2 ppb, ≤2 ppb</u>
190	図 VIII.8	<u>≥2%, -2~2%, ≤2%</u>	<u>≥2 ppb, -2~2 ppb, ≤2 ppb</u>